

公明トピックス 神奈川区

第64号

発行元：公明党神奈川支部
発行人：藤井しんすけ
竹内やすひろ

地域の声 が政治を動かす

福島第1原発の周辺から自主避難した住民に、高速道路の無料化を！
参院選神奈川選挙区予定候補・佐々木さやかさんは県本部「3・11を忘れない防災・減災

プロジェクト」の事務局長として、ゴールデンウィークを前に避難家族の再会をと国土交通省に申し入れ、本年4月26日からの無料化が実現しました。

一人でも多くの人に笑顔になってもらいたい。その思いが国を動かしていく一方、佐々木さんは各地の街頭に立ち、神奈川が持つ魅力、青年力、女性力を引き出していきたいと呼びかけています。

「生きることに優しい国づくり」

横浜市会・竹内やすひろ議員は、障害を持つ幼児の家族から、市バスや地下鉄の運賃について要望を受け、横浜市交通局に申し入れを行いました。

その結果、5月15日から幼児本人の無料化と、親などの介護者は半額に。

ネットワークの力で

公明党にはネットワーク3000があります。地域の声が市区町村の議員に寄せられ、都道府県へ、そして国会へと、政治を動かす大きな力になります。

公明党はどこまでも生活現場の声に寄り添い、声を届ける柱としての役割を担ってまいります。



横浜駅西口で街頭に立つ佐々木さやかさん



無料化実施を喜ぶ皆さんと



神奈川県議会議員 藤井しんすけ
Tel. 441-0684 Fax. 441-0689

横浜市議会議員 竹内やすひろ
Tel. 716-6822 Fax. 716-6823



2013
年度予算

公明の主張を反映

2013年度予算が5月15日に成立しました。

同予算は公明党の昨年の衆院選の公約を随所に反映したものとなりました。

特に、東日本大震災からの復興や防災・減災対策、国民の生命を守る施策などが大きく前進しました。具体的には、東日本大震災の復興予算を2011年度からの5年間で6兆円増額や、自治体が管理するインフラの総点検や老朽化対策を後押しする「防災・安全交付金」に1兆460億円などがあります。また、太陽光発電などの再生エネルギー研究開発支援に156



子安通3丁目地域防災フェアにて

0億円、待機児童解消へ4611億円、通学路安全対策に1億円、子宮頸がん、インフルエンザ菌b型（ヒブ）、小児用肺炎球菌の3ワクチンを定期接種化し、妊婦健診の公費助成も恒久化となりました。

待機児童ゼロを推進

保育所の待機児童数で「全国ワースト1位」だった横浜市が、今年4月ついに「待機児童ゼロ」を達成。その陰には公明党が、保育所の定員増加など、さまざまなニーズに応える支援を主張し、各区役



現場の声が藤井議員へ

所には相談員（保育コンシェルジュ）制度を実現しました。こうした取り組みは、「横浜方式」と言われるまでになりました。



コットンハーバーで

◆所属委員会◆

両議員の本年度の所属委員会は次の通りです。

藤井しんすけ 総務政策常任委員会

竹内やすひろ 建築・都市整備・道路常任委員会、孤立を防ぐ地域づくり特別委員会